

本年度の〈野火Ⅲ〉は、9月に開館した岡山芸術創造劇場ハレノワのアートサロンを会場に開催する。同劇場で最大の練習室であり、四方の南壁は全面ガラス、東壁は全面鏡という異空間を成している。シンプルでアートラボの可能性を秘めた会場を舞台に、舞踊家・山田せつ子が創作ダンス『晴ノ庭』—そして なるほど ここにいる—を発表する。内と外の境界、実景と心象の狭間、実在と虚構の融点、見ることの神話をめぐり山田せつ子が斬新なコンテクストを提示し、振付とダンスを共創する平井優子と、平面と立体の美術を駆使する田沢千草が加わり、三態三様の新しいダンスシーンが誕生する。

2023年10月14日 [土] 15:00☆

15日 [日] 15:00

岡山芸術創造劇場ハレノワ・アートサロン

(岡山市北区表町3-11-50)

☆終演後アフタートーク

構成・演出：山田せつ子

振付・ダンス：山田せつ子 平井優子

舞台美術：田沢千草

舞台監督：熊本光成(オールライツ)

照明：熊本光成

音響：プロサウンド

野火ロゴ：茅野布美恵

コラージュ原画：松島智里

宣伝美術：白神恭子(白神デザイン)

制作：古本径子 市美穂 秋山享祐 岸和秀(アートファーム)

プロデューサー：大森誠一(アートファーム)

企画制作：NPO法人アートファーム

一般前売3,000円 一般当日3,500円

学生前売1,500円 学生当日2,000円

高校生以下1,000円(前売当日共通)

障害者手帳のある方1,000円(前売当日共通)

障害者介助者1,000円(前売当日共通)

※各日指定/全席自由

[チケット取扱]

《プレイガイド購入》

ぎんぎや TEL086-222-3244

岡山芸術創造劇場ボックスオフィス TEL086-201-2200

岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL086-234-2010

《WEB申込》

NPO法人アートファームHP <http://www.artfarm.or.jp>



創作ダンス野火 シリーズ

「野火」といえば日本文学の名著・大岡昇平の戦中記だが、その苛烈な人間生存について想起したのが、惹きから3年を越えようとしている新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的なパンデミックである。この災禍は、人間同士のつながりを途絶し、外界からココロとカラダを閉ざすことを余儀なくしてきた。そこで、当団体では身体表現によって人間と自然(外界)とのつながりを再発見していく活動として「野火」シリーズを2022年度より開始した。その表現コンセプトは「身体は野に捧ぐ、言葉は風に晒す、精神は地に還す」である。

☆野火I『咆哮のコレオグラフィー』 西中島河川敷公演

2022年10月1日 2日 演出・振付・出演：平井優子

☆野火II『みみをすます』 神道山日拝所公演

2022年11月26日 27日 演出・振付・出演：岩下徹

広く緩やかな川に足を浸す水色と鉄錆の古い橋脚、対岸の中洲に重なる家並み、長く、長く続くアーケード商店街のカフェや食堂、まずは、この街を歩くことから始まった。大森誠一さんと田沢千草さんの謎を解くような言葉を聞き、目を凝らし、感覚を開いてそこに立つことがダンスの始めの一步になった。アートファームの企画でソロダンス『FATHER』を上演したのは28年前！今回『野火』シリーズで『晴ノ庭』というタイトルをアプレゼントされ、私は『そしてなるほどここに』というサブタイトルを加えた。たおやかなダンサー・平井優子さんと、おおらかな美術家・田沢千草さんと共に開く庭にてお待ちしております！

山田せつ子



山田せつ子

ダンサー/コレオグラファー。明治大学演劇科在学中から8年間、天使館で笠井勲に即興舞踏を学ぶ。独立後ソロダンスを中心に独自のダンスの世界を展開し、舞踏から生まれた新しいダンスとして日本のコンテンポラリーダンスの先駆けとされる。1983年フランスアヴィニョン・シャルトルーズフェスティバルに招待されて以来、国内だけでなくヨーロッパ、ロシア、アジア、アメリカ等国外での公演も多数行って来た。1989年～ダンスカンパニー枇杷系を主宰。2000年～2011年、京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科教授(現・京都芸術大学)。それぞれの場所でユニークなダンサー、コレオグラファを輩出する。また、同大学舞台芸術研究センター主任研究員として、ダンス演劇の企画を手掛ける～2022年。現在、ソロダンス活動とともに、若手ダンサーとの共同作業も多い。2019年度日本ダンスフォーラム大賞受賞。著書『ダンスエッセイ「速度ノ花」』(五柳書院)東京都在住。岡山では、1995年にソロダンス『FATHER』(岡山河畔劇場)を上演している。今回は28年振りの岡山公演となる。

平井優子

ダンサー/振付家。幼少よりクラシックバレエを始める。90年代後半から東京を拠点にダンサーとして活動。2001年以降マルチメディアパフォーマンス集団ダムタイプのメンバーとして作品制作やツアー公演に参加。高谷史郎作品などコラボレーション作品を中心に活動する傍らソロ作品や振付演出作品なども発表する。音楽家とのセッションやMVの出演、能楽師らとの共演など活動は多岐にわたる。第17回福武文化奨励賞受賞。岡山県出身。

田沢千草

美術家。青森県出身。現在は岡山を拠点に活動。絵画を中心に舞台美術も手掛ける。物事の境界線を捉え直し、一見対極にある存在の反転と同列をテーマに抽象と具象表現を織り交ぜ制作を行う。ありがとうファーム(岡山)アートディレクター。アイデア実験室「ハブラボ」代表。出版絵本「マトリョーシカとヘッヘホイのまほう」(白泉社)等。

[アクセス案内]



東山線「西大寺町・ハレノワまえ」下車し南へ徒歩約5分
清輝橋線「大雲寺前」下車し東へ徒歩約5分
会場に駐車場はありません。

[主催] 特定非営利活動法人アートファーム

[後援] 岡山県、岡山市、公益財団法人福武教育文化振興財団

[助成] 芸術文化振興基金助成事業



[お問合せ/お申込み] NPO法人アートファーム

〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-5 栗山ビル402

TEL=086-233-5175 FAX=086-294-3764

URL=<http://www.artfarm.or.jp>

E-mail=info@artfarm.or.jp